

## 広島県フロラ覚書 (3)

### キエビネ (新産地)\*

石田 源次郎<sup>1)</sup>・磯部 実<sup>1)</sup>

#### Memoranda for the Flora of Hiroshima Prefecture (3)

#### A new distributed record of *Calanthe sieboldii* Decne.\*

Genjiro Ishida<sup>1)</sup> and Minoru Isobe<sup>1)</sup>

キエビネ *Calanthe sieboldii* Decne. は、九州、四国、紀伊半島、山陰（山口県、島根県）に分布し、広島県での分布は、県西部でごく稀に自生が確認されている（広島県植物誌 1997）。

2000年5月に広島市在住の橋本輝彦氏から広島県佐伯郡吉和村でキエビネらしきものを発見した旨の情報が寄せられ、これを同年5月25日に生育地で観察したので記録する（図1）。

当該植物は、広島県佐伯郡吉和村中央部の北西寄りの、溪流から約150m離れた海拔約530mの北北西向きのやや急峻な斜面に生育していた。その植物の周りにはチャボガヤやイヌツゲ、ゴマギ、オオバアサガラ、アブラチャン、イタヤカエデなどの樹木が上層を被って生育していた。当該植物は、狭い範囲内に7株が見られ、付近にはそれ以外の株を見いだすことができなかった。これら7株のうちの3株は花茎を抽苔させ、開花していたが、他の株は小さく開花に達していなかった。当該植物の近辺には、サルメンエビネ数株が生育しており、開花が見られた。

当該植物の花を典型的なキエビネと比較すると、距がやや長い（図2）ものの、花色や花の大きさ、ずい柱の形態、花柄子房の形態、ずい柱側部先端に赤褐色斑が存在することなど各部の形態は、キエビネの形態と重大な差は認められなかった。また周辺に生育するサルメンエビネとの交雑あるいは、その周辺では生育存在を確認できなかったが、エビネ（*C. discolor*）との交雑を示唆するような形態も、認

められなかったので、当該植物をキエビネとしてよいと考えられる。

以上の結果から、キエビネの新産地として広島県佐伯郡吉和村を記録、報告する。

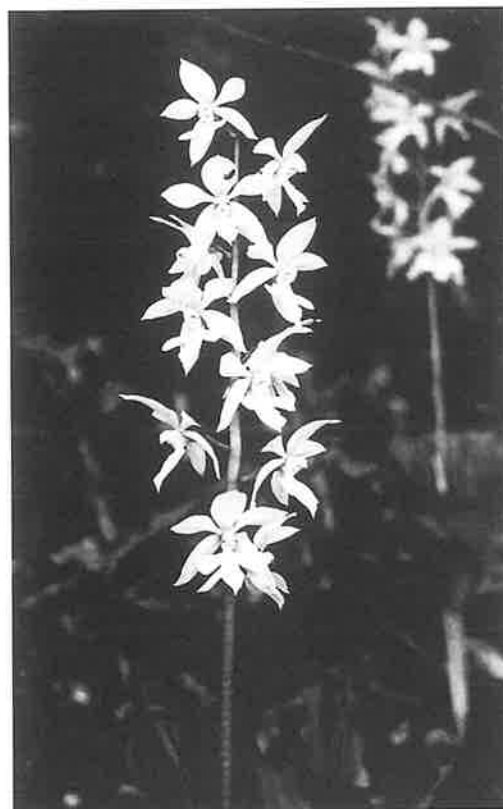


図1 *Calanthe sieboldii* found in Yoshiwa-village, Hiroshima Prefecture.

\*Contribution from the Hiroshima Botanical Garden No. 77.

1) The Hiroshima Botanical Garden

Bulletin of The Hiroshima Botanical Garden, No. 21:47-48, 2002.

## 証拠標本

May 25, 2000. Coll. G. Ishida and M. Isobe,  
HBG12322. det. G. Ishida

## 謝 辞

このたびのキエビネの発見、情報を提供していただいた橋本輝彦氏に厚くお礼を申し上げます。

## 摘 要

2000年に広島県佐伯郡吉和村において、キエビネ

*Calanthe sieboldii* Decne.の自生が初めて発見された。

## Summary

*Calanthe sieboldii* Decne. was newly found in Yoshiwa-village, Hiroshima Prefecture.

## 引用文献

広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会(編)1997. 広島県植物誌. 832pp., 中国新聞社. 広島市.

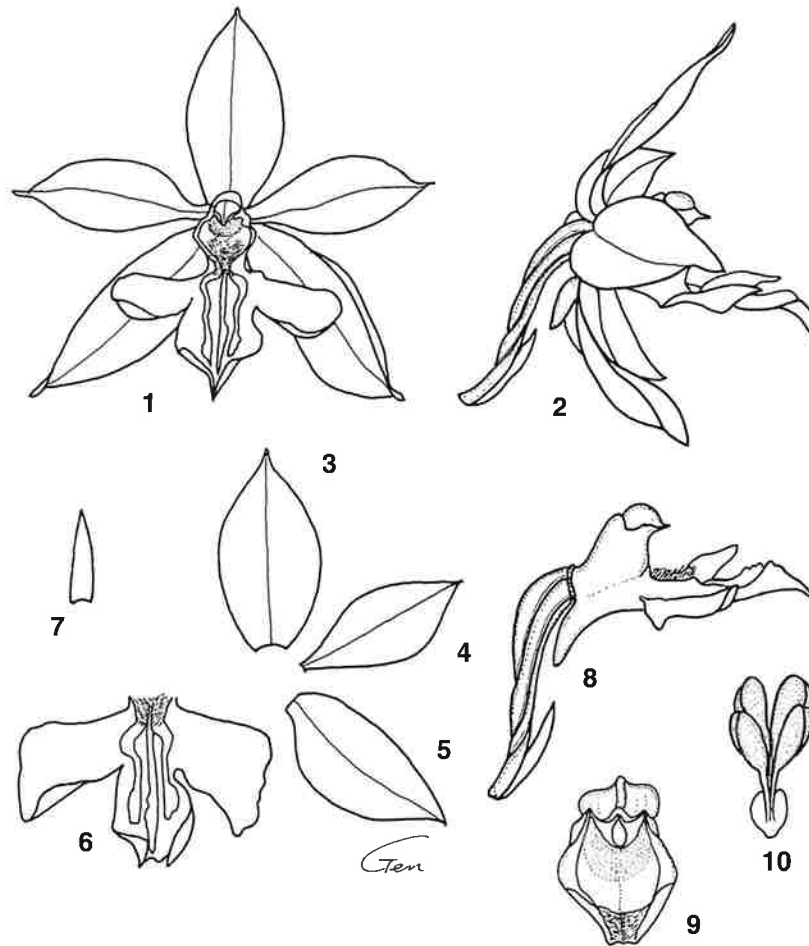


図2. *Calanthe sieboldii* found in Yoshiwa-village, Hiroshima Prefecture.

1. front view of flower x1.1, 2. side view of flower x1.1, 3. upper sepal x0.9, 4. petal x0.9, 5. lateral sepal x0.9, 6. lip x1.1, 7. floral bract x0.9, 8. lip and column x1.5, 9. ventral view of column x2.0, 10. dorsal view of pollinia x5.0,